



# 降灰除去作業に係わる車両の派遣

新燃岳の噴火に伴う降灰除去作業のため、宮崎県、鹿児島県から要請を受け、国土交通省は、九州内の他県の事務所保有の車両をはじめ、遠くは北海道開発局や東北地方整備局等が保有している車両（散水車、路面清掃車、歩道清掃車等）を、計44台派遣しています。

○派遣先 宮崎県（都城市、日南市、高原町、小林市、三股町） 鹿児島県（霧島市）

■派遣先別一覧表(H23.2.22 9:00現在)

(台)

機械名	宮崎県					鹿児島県	直轄国道		車両計
	都城市	日南市	高原町	小林市	三股町	霧島市	国道10号	国道220号	
散水車	10	2	3	3			2		20
清掃車	8	2	3	2	2		3		20
降灰防御対応車両			3			1			4
計	18	4	9	5	2	1	5		44

■派遣先別一覧表(H23.2.22 9:00現在)

(台)

機械名	派遣先	北海道 開発局	東北地方 整備局	関東地方 整備局	中部地方 整備局	近畿地方 整備局	中国地方 整備局	四国地方 整備局	九州地方 整備局	車両計
	散水車		5(9)	3	2	1	(2)	2(2)	3(1)	
清掃車		1	3	4	1	3	1	2	5(10)	20(10)
降灰防御対応車両									4	4(0)
計		6(9)	6(0)	6(0)	2(0)	3(2)	3(2)	5(1)	13(17)	44(31)

※( )内の車両は宮崎県内に待機または移動中

## 対策車両の写真一覧



散水車

路面清掃車で降灰を除去する際、土煙がしないよう、事前に散水を行います。



路面清掃車

道路上にある降灰を除去します。

## 降灰による河川水質への影響把握のため水質調査を実施。

霧島山(新燃岳)の噴火活動が活発になり、現地において相当程度の降灰が確認されております。

過去の噴火(1960年)における降灰が強い酸性であったことから、河川水のpH(水素イオン濃度)の調査を実施することとしました。

また、河川に流入した降灰が、河川の生物(魚類等)に影響を与える可能性がある為、SS(浮遊物質量)の調査を実施します。

※国交省と、都城市では定期水質調査(月1回)に加え、週1回の水質調査を実施しています。

今回の調査の結果は…

pH(水素イオン濃度)について…

大淀川全域において、2月17日の降雨時は若干数値が低くなっており、しかし、例年の通常時と比較して大きな変化はありませんでした。

SS(浮遊物質量)について…

大淀川上流域において、降雨により増加が見られましたが、pH値の大きな変化が見られないことから降灰による河川環境への影響は少ないもの(通常の降雨時と同様)と考えられます。

上記のことから、降雨に伴う降灰の河川への流入は考えられるものの、そのことによる河川環境への影響については現時点では見られません。